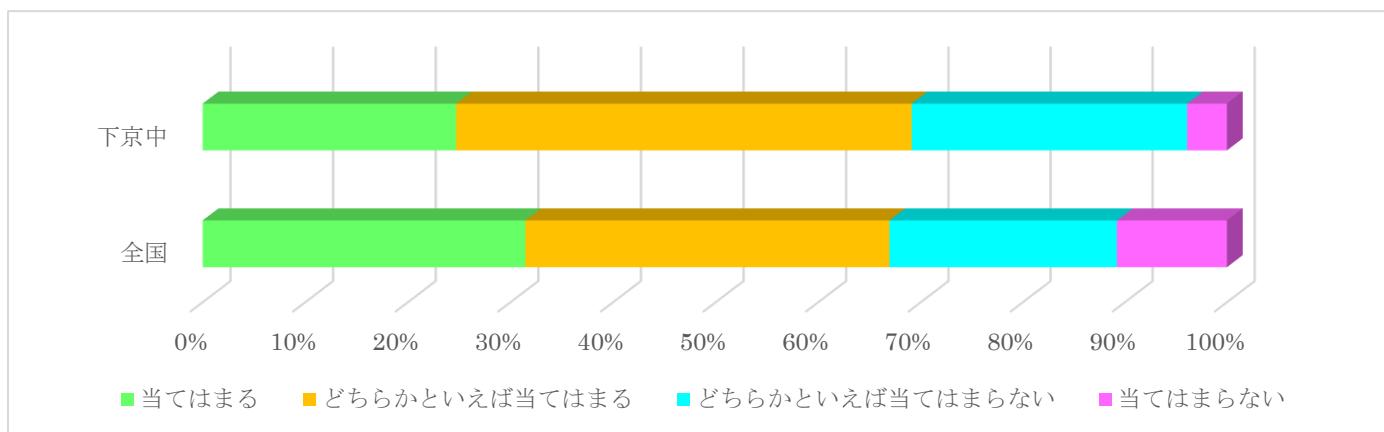


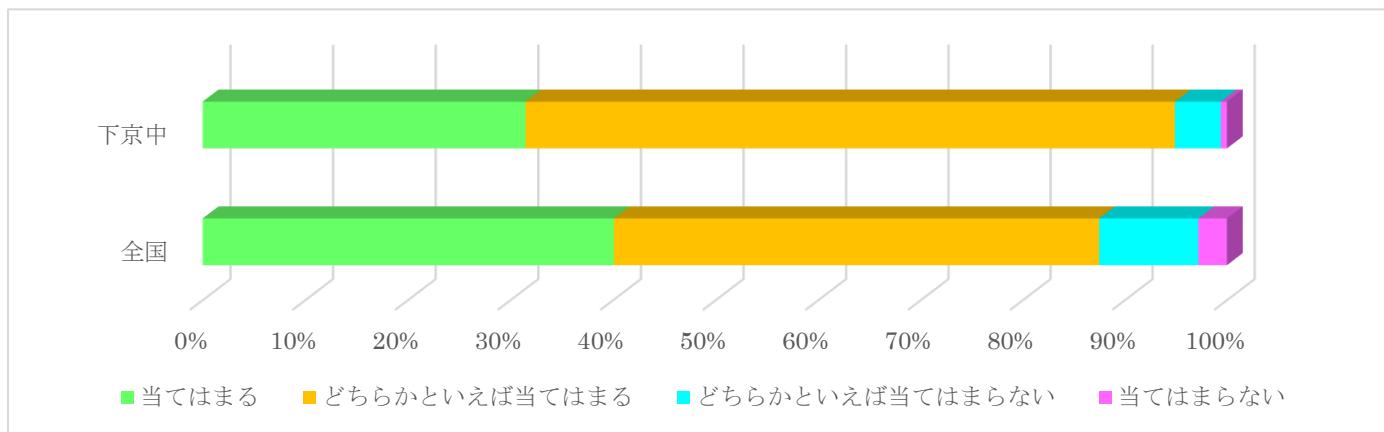
○生徒質問紙から見える「R 5 下京中学校3年生」

自分のよいところを分かっている人が半数を超えていました。先生もそれを認めてくれていると多くの生徒が感じています。幸せな気持ちになることが「よくある」人は、4割を超えています。

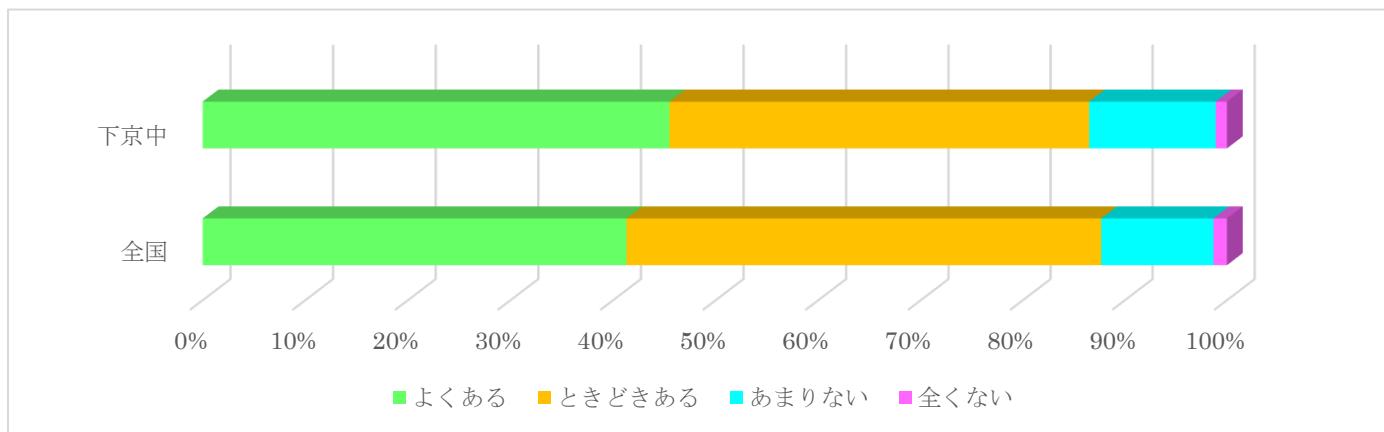
(4)自分にはよいところがあると思いますか。



(5)先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。



(15)普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

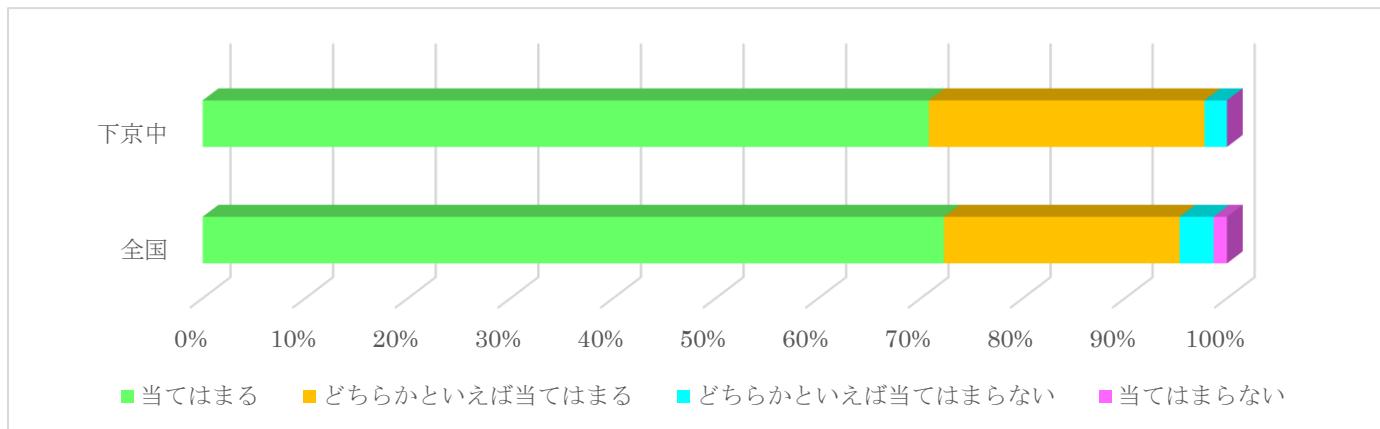


自分のよいところを分かっていることは、大事なことですね。毎日の生活の中で幸せな気持ちになることがあるのも、自分のことを自分で認めることができているからこそなのかもしれません。お互いのよいところを見つけること、それを相手に伝えることができると、幸福感は高まりそうですね。これは、我々教員も心掛けたいと思います。

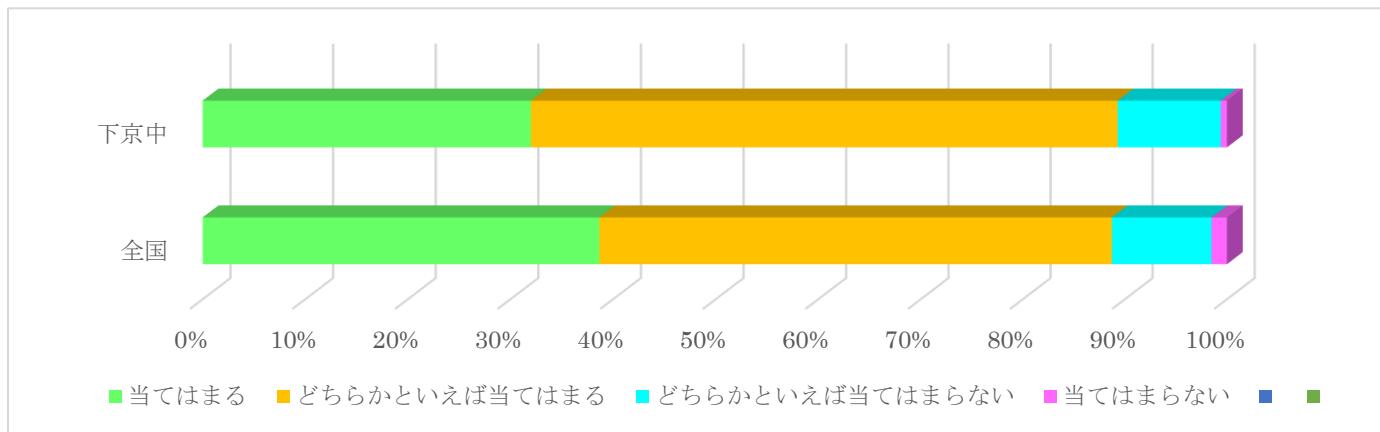


「人の役に立つ人間になりたい」と考えている人が9割を越えています。今はまだ、困っている人を助ける勇気が出ない人も少しいますが、おたがいに支え合える社会を目指している学年と言えますね。

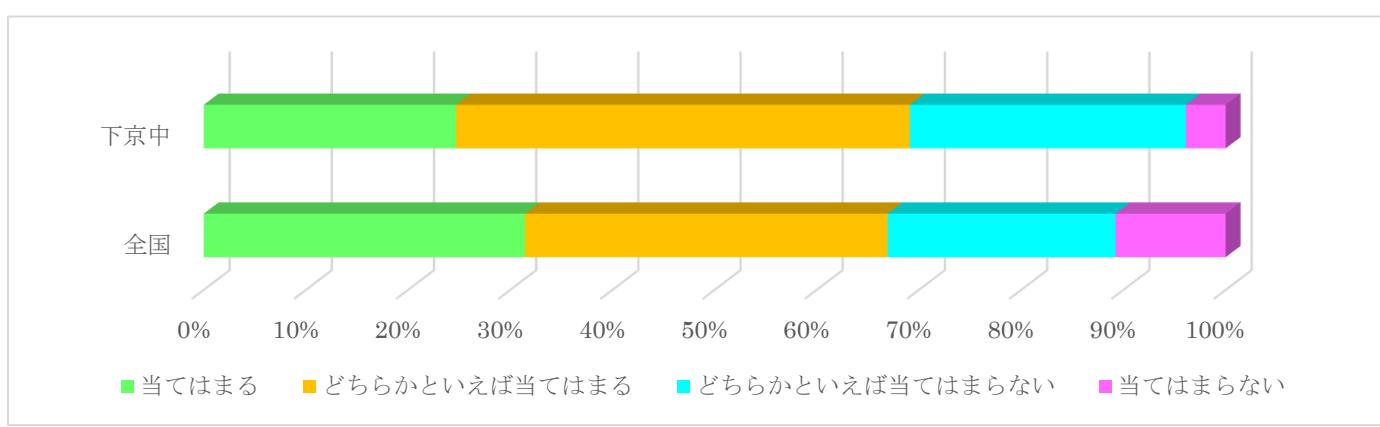
(11)人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



(8)人が困っているときは、進んで助けていますか。



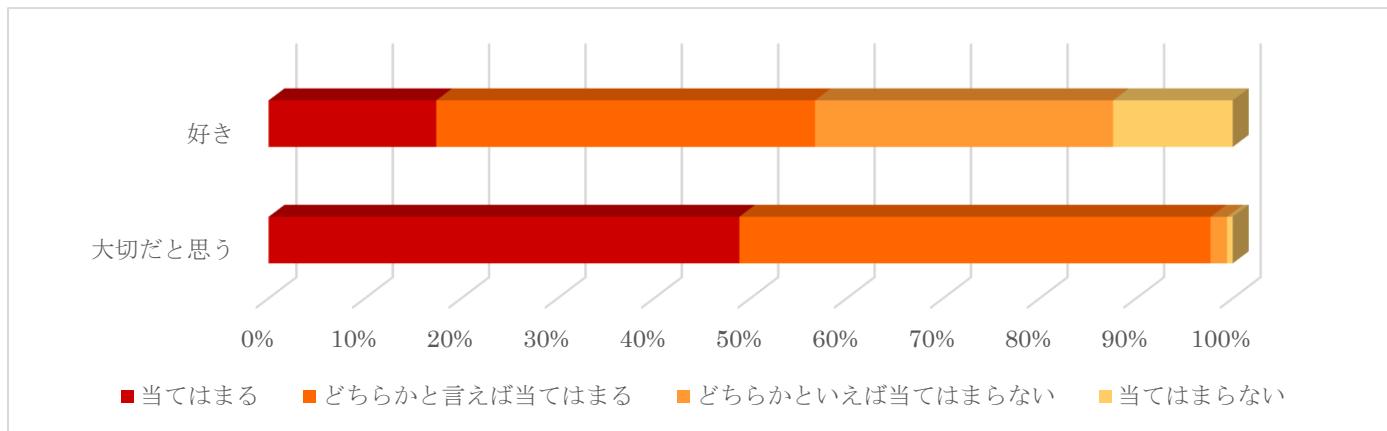
(10)困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。



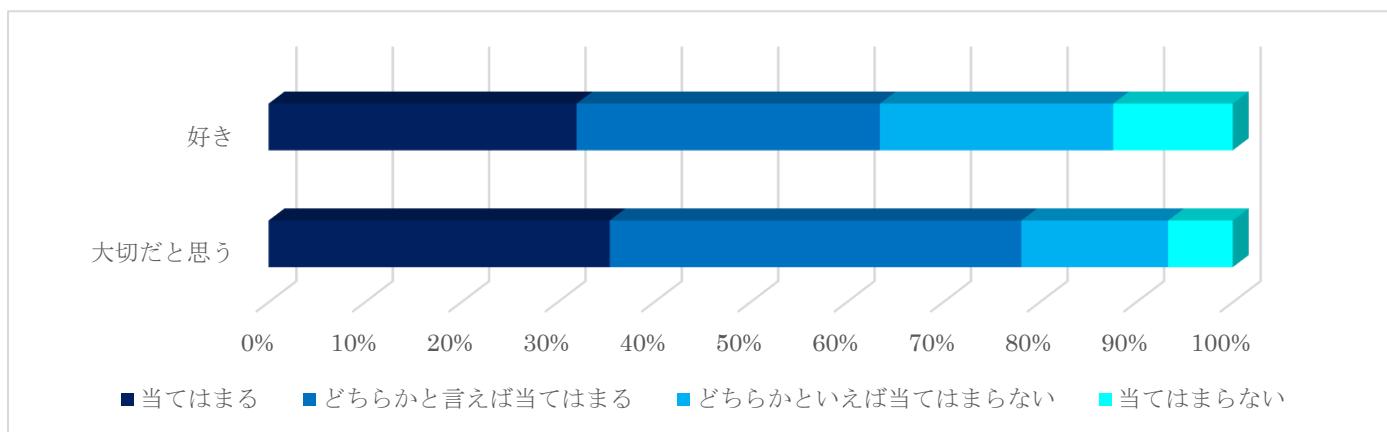
人の役に立つ人間になりたいと思ってはいますが、まだ進んで人を助ける勇気が出ない人も少しいるようです。自分が困ったときに相談するのが難しい人も3割を超えていました。助けたり助けられたりしながら、社会は成り立っています。まずは学校内で、そんなつながりを作っていくと良いなと思っています。

今回の3教科について思っていること。

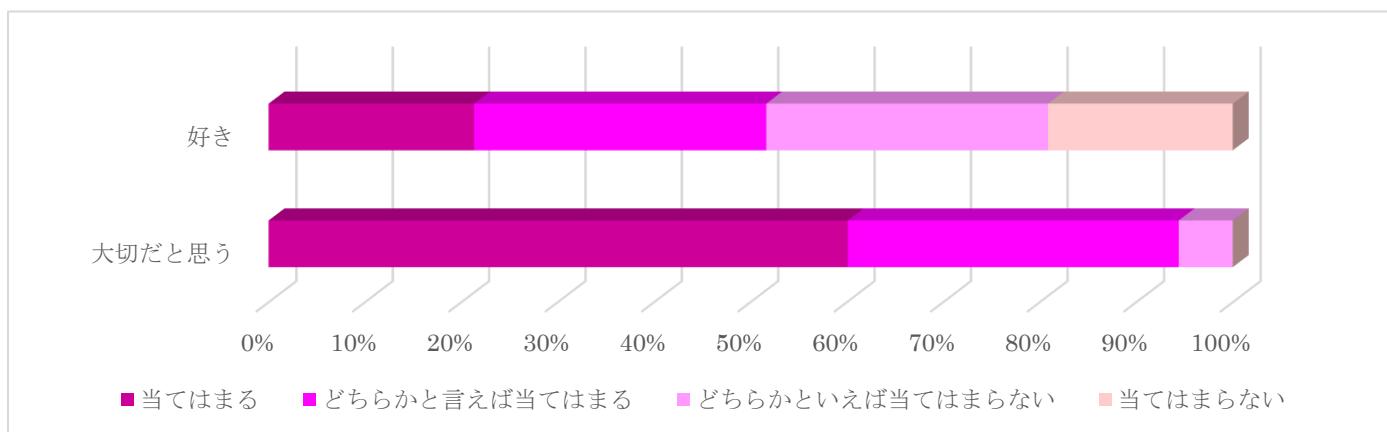
(47)(48)国語の勉強は好きですか／大切だと思いますか。



(55)(56)数学の勉強は好きですか／大切だと思いますか。



(59)(60)英語の勉強は好きですか／大切だと思いますか。



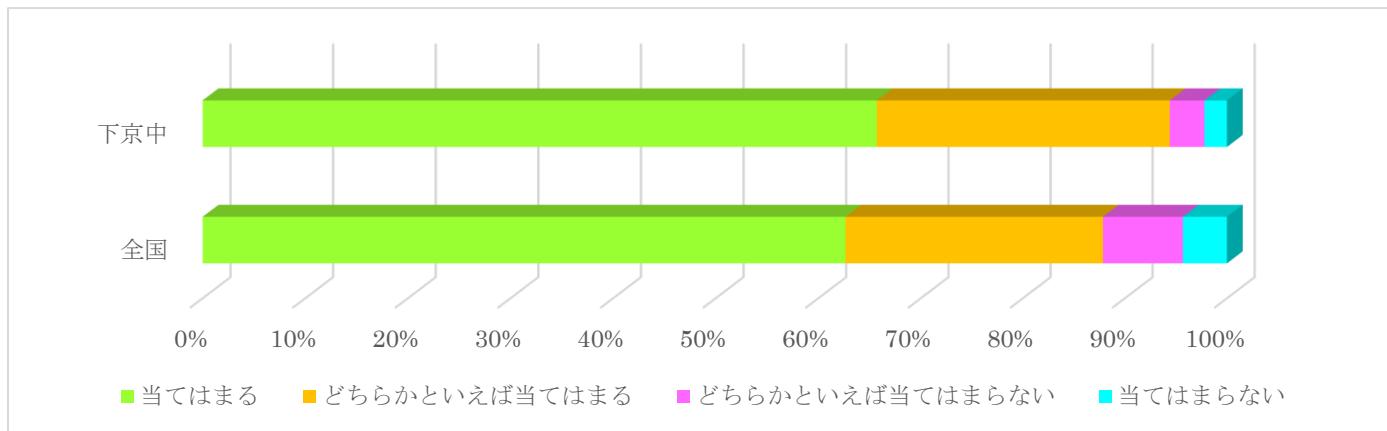
今回実施された3教科について、大切だと思っている人は9割を超えています。

ただ、好きかどうかはまた別の話のようですね。得意不得意、好き嫌いがあるのは、ごく自然なことですが、「好きこそものの上手なれ」ということわざもあります。興味のタネを提供できるような授業を、先生たちも工夫していきたいと思っています。

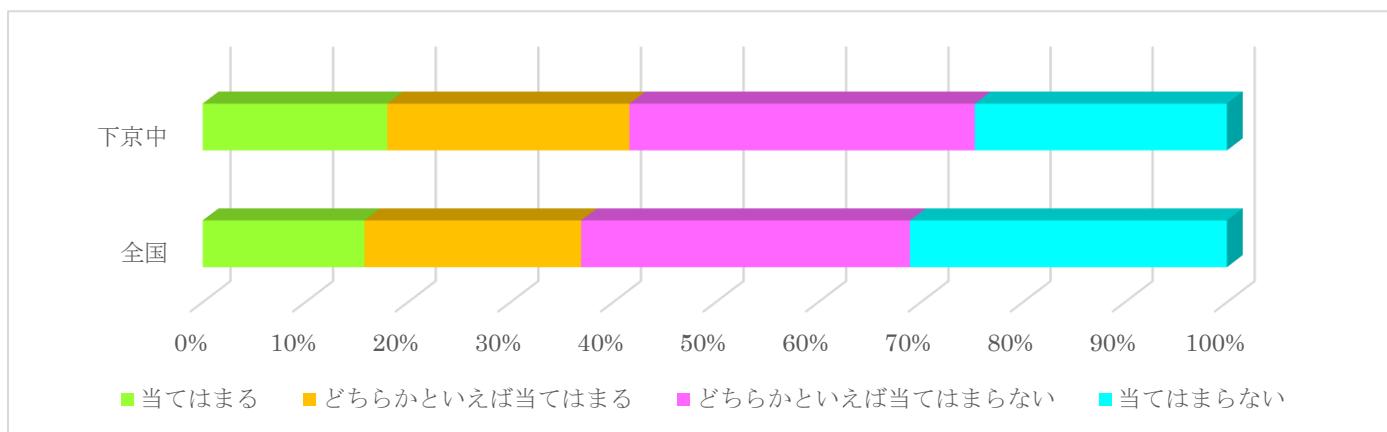


今年は4年ぶりに英語のテストが行われました。

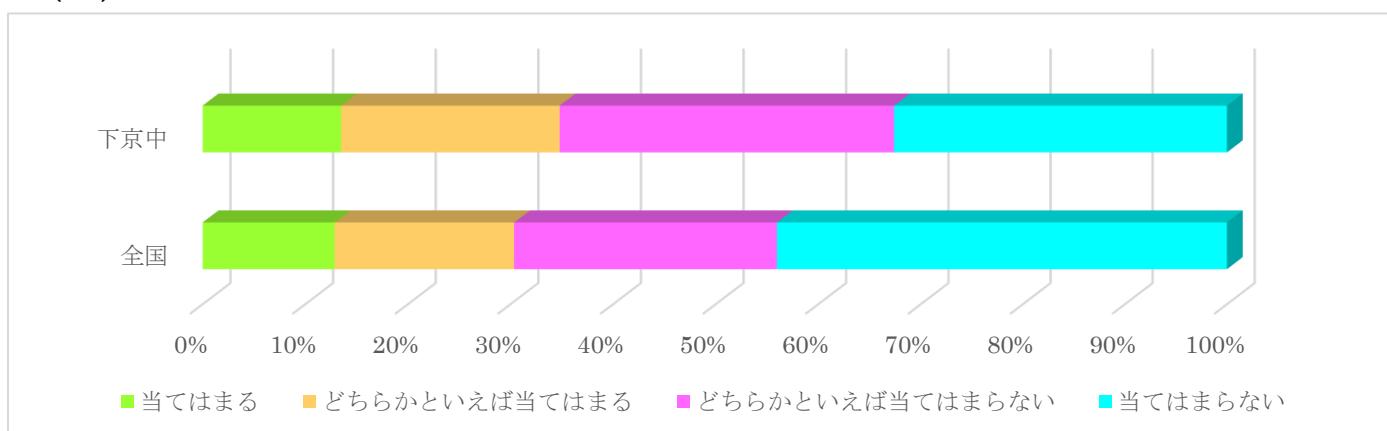
(62)英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。



(63)将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか。



(64)これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか。



将来役に立つのは分かっていても、実際に英語を使った仕事や生活を想像するまでには至らない人が多いようです。ただ、日常的に英語を使う機会については、全国平均よりも少しだけ上回りました。英語は、下京から世界に羽ばたく1つのツールであることは間違いありません。まずは学校周辺で見かけることの増えた、海外からの観光客の方への道案内からチャレンジしてみても良いかもしれませんね。

